

高知県の推計人口年報（令和6年）【要約】

（令和6年10月1日現在）

※高知県推計人口とは、直近（R2）の国勢調査結果の確定人口を基準として、住民基本台帳の移動報告（出生・死亡・転入出など）の数を反映させたものです

1 本県の人口

（1）総人口

■総人口は 655,698 人

- ・令和6年10月1日現在の総人口は655,698人で、前年に比べ10,595人（△1.6%）の減少
- ・男女別にみると、男性は310,691人、女性は345,007人で、女性が男性より34,316人多く、人口性比は90.1。前年と比べ、男性は4,723人（△1.5%）減少、女性は5,872人（△1.7%）減少
- ・世帯数は311,379世帯で、前年に比べ1,700世帯減少

年	人口（人）			世帯数（世帯）	1世帯あたりの人員（人）
	総数	男	女		
令和6年	655,698	310,691	345,007	311,379	2.11
令和5年	666,293	315,414	350,879	313,079	2.13
対前年差	△ 10,595	△ 4,723	△ 5,872	△ 1,700	△ 0.02

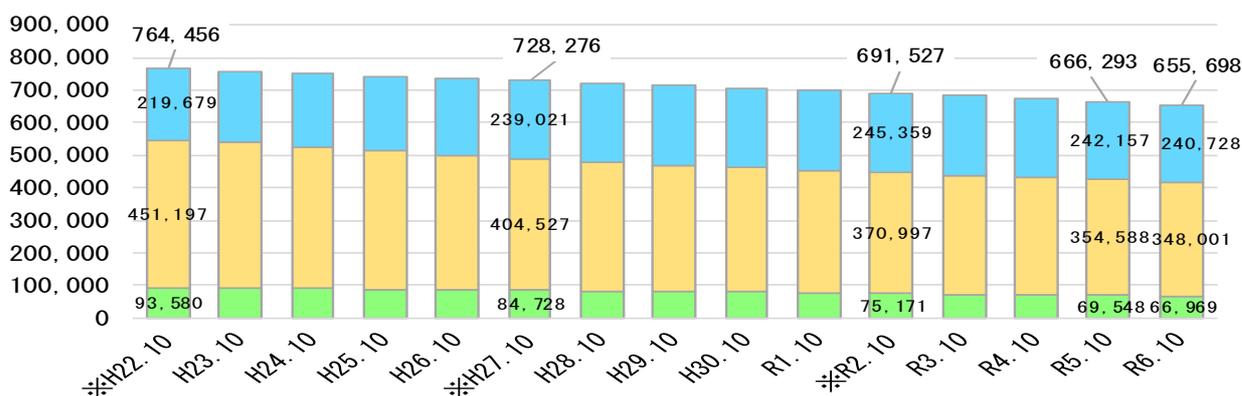
（2）年齢3区分別人口

■全年齢3区分で減少

- ・年齢3区分別人口をみると、15歳未満人口は前年に比べ2,579人減少の66,969人、15～64歳人口は6,587人減少の348,001人で、65歳以上人口は1,429人減少の240,728人で、すべての区分で減少
- ・総人口に占める割合をみると、前年に比べ65歳以上人口（36.7%）は0.4pt上昇し、75歳以上人口（21.7%）も0.9pt上昇。15歳未満人口は0.2pt、15～64歳人口は0.1pt、低下

区分	人口（人）	対前年増減数（人）	構成割合（%）	対前年比（pt）
年少人口(0～14歳)	66,969	△ 2,579	10.2%	△ 0.2
生産年齢人口(15～64歳)	348,001	△ 6,587	53.1%	△ 0.1
老年人口(65歳以上)	240,728	△ 1,429	36.7%	0.4
うち75歳以上	142,159	3,621	21.7%	0.9

単位：人



※は国勢調査結果の数値 ■ 15歳未満 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上

(3) 人口動態

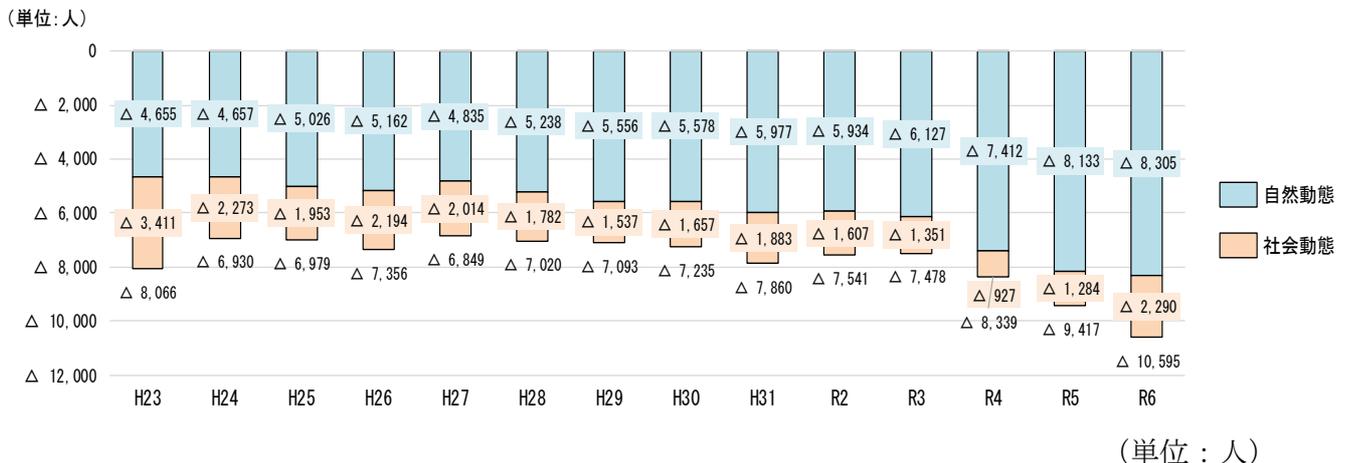
この1年間（令和5年10月～令和6年9月）の人口動態をみると、自然動態で8,305人減少し、社会動態で2,290人減少

■自然動態は自然減が拡大

- ・出生者数は前年と比べ324人減少の3,195人で、死亡者数は前年と比べ152人減少の11,500人。自然動態は8,305人減少、その減少幅は172人に拡大

■社会動態は転出超過が拡大

- ・転入者数は20,071人で前年と比べ1,330人減少、転出者数は22,361人で324人減少。社会動態は2,290人減少、その減少幅は1,006人に拡大



	人口動態						
	増減	自然動態		社会動態			
		出生数	死亡数	転入者数	転出者数		
令和6年	△ 10,595	△ 8,305	3,195	11,500	△ 2,290	20,071	22,361
令和5年	△ 9,417	△ 8,133	3,519	11,652	△ 1,284	21,401	22,685
対前年差	△ 1,178	△ 172	△ 324	△ 152	△ 1,006	△ 1,330	△ 324

2 市町村別人口

(1) 総人口

■全市町村で人口減少

- ・総人口はすべての市町村で減少し、高知市の4,001人が最も多く、次いで須崎市の534人と続く
- ・人口が最も多いのは、高知市の31万3,900人で、県総人口の47.9%を占め、次いで南国市の4万5,650人(7.0%)と続く
- ・年齢3区分人口の割合をみると、15歳未満で最も高いのは大川村、最も低いのは室戸市、その差7.3pt。15～64歳で最も高いのは高知市、最も低いのは大豊町、その差24.8pt。65歳以上で最も高いのは大豊町、最も低いのは高知市、その差29.6pt

(2) 人口動態

■自然動態は全市町村で減少、社会動態は6市町村で増加

- ・この1年間を人口動態別にみると、自然動態ではすべての市町村で減少。減少数は高知市の2,681人が最も多く、全体の32.3%を占め、次いで香美市の382人(4.6%)と続く
- ・社会動態では27市町村が減少し、高知市の1,320人が最も多く、次いで須崎市の184人と続く。一方、6市町村が増加し、南国市の150人が最も多く、次いで香南市の35人と続く